

すぐソコ！かわじま ふるさとビジネス(地域商社設立編)

—No.48 川島町—

【事業の目的】

川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標に掲げる「地域産業の活性化と雇用の創出」「人を呼び込む観光・交流の活性化」を加速化させるため、平成の森公園を始めとした地域資源を整備し、関越自動車道練馬ICから圏央道川島ICまで約25分というアクセスの良さを活かし、都会で体験できない「自然」や「ふるさと暮らし」の体験を求める東京23区を中心とした都内のファミリー層を誘引し、観光入込客数を拡大します。

平成の森公園周辺には、生産・加工・販売と、当町の生産者・民間事業者等が中心となって設立した地域商社が特産品の魅力を伝えることのできる拠点を整備し、「稼ぐ力」を生み出します。

【事業の内容】

- ・地域資源を活用した産業振興に取り組む地域商社の設立準備を進めます。
- ・令和元年度磨き上げを行った特産品については、本事業で設立する地域商社を中心に市場や販路の拡大に取り組みます。
- ・平成の森公園周辺の活用に向けたエリアデザインを作成します。
- ・農業のIoT化に向けた組織を構築し、知識やスキルの向上を図ります。

【事業年度】

令和元年度～3年度（3か年）

【予算額(千円)】

74,648千円

うち 18,050千円（令和2年度）

【財源】

地方創生推進交付金（国）、一般財源（町）

【事業実施に至った背景・経緯】

当町は、平成12年以降少子高齢化に伴う人口減少が続いており、特に町内に魅力的な雇用がないことから、就職を機に20～30歳代の若い世代が転出する傾向が顕著です。また、観光誘致や商工業の振興に対する町民満足度がそれぞれ5.4%、9.5%と、魅力発信や来訪者へのおもてなしの担い手でもある町民に、町の特産品や観光施設等の魅力が十分に理解されていません。

これらのことから、町民一人ひとりが町に誇りを持ち、地域が一体となって町を活性化させる気運を醸成するため、地域資源を取りまとめてそれぞれが持つ魅力を結束・強化し、観光施策の推進や稼ぐ力の向上に取り組む地域商社を設立することとなりました。

【事業のPRポイント】

- ・町内事業者が中心となって活躍する地域商社を設立し、町内事業者の販売額向上や町外からの外貨獲得を推進し、稼ぐ力の強化を図ります。
- ・高付加価値の農産物や加工品等の売上向上及び雇用創出に取り組めます。
- ・6次産業化の推進による1次、2次、3次産業の売上向上及び雇用創出に取り組めます。
- ・近隣自治体と連携し、販売規模の拡大や周遊ルートの形成に取り組めます。近隣自治体の観光資源との相乗効果により、圏域来訪者の消費額向上を図ります。
- ・観光振興、農業振興、雇用創出の政策間連携により事業を推進します。

【事業実績・成果・今後の展開】

令和2年度より、民間事業者や生産者、町民が一体となって「稼げるまちづくり」を推進するための地域商社設立準備を進めています。令和3年度の設立後は、町内に限らず広域にわたって活動し、近隣自治体とも連携しながら稼げる圏域の拡大に取り組めます。

〔 連絡先 〕

政策推進課 政策・財政グループ 049(299)1752(直通)